

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：黒川委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第6回防災部会				
(2) 開催日時	平成30年10月16日（火）13時30分～15時30分				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 3階集会室1・2				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員（部会長：志村 陽子） <敬称略>				
	田邊 俊子	遠藤 文夫	宇田尻 浩司	一色 隆雄	石塚 由江
	蛭子 明子	寺嶋 広子	栗田 修平	黒川 建	金丸 正明
	篠崎 哲也				
	オブザーバー：八尾 隆一（蒲田警察署）、友部 和也（田園調布消防署）、 竹山 淳（蒲田消防署）、 松橋 幸博（大田区立久が原福祉園施設長）、 高安 道郎（大田区立くすのき園施設長）				
	区職員：上田 哲也（健康政策部災害時医療担当課長）、 阿部 幸喜（防災危機管理課）、 高野 耕治（上池台障害者福祉会館長）、 山戸 健司（障害福祉課）、 小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター）				
事務局：小林 善紀・森崎 恵里（障がい者総合サポートセンター）					
1 各委員、各ネットワークからの情報提供					
1) おおたTSネットより					
9/29に拡大定例会を実施し、78名が参加。「児童虐待から考える」をテーマに、ルポライターによる講演を伺った。					
2) 福祉防災コミュニティ協会より					
・「みんなが元気になる福祉避難所」始めます！リーフレットでの紹介。					
3) ヘルプカードについて					
・ヘルプカードに関する声を、防災部会として積み重ね、啓発などのヒントにしていきたい。今後、専門部会内で情報共有の項目に加えていくことを確認した。					
・ヘルプマークとヘルプカードの使用目的に違いがある。東京都自立支援協議会など通して伝えていきたい。					
4) 児童発達地域ネットワーク会議より					
・放課後等デイサービス事業所の集まった際、福祉避難所を知らないという現実を知った。啓発をしていく必要性を感じた。					
2 情報提供					
(1) 防災危機管理課より					
・鶴の木地区と馬込地区の総合防災訓練の参加にあたって					

防災部会の参加委員用に駐車場1台分確保している。当日の天候によって、会場レイアウトが変更になる。今年度は、今まで以上にリーフレットの作成に力を入れているので、確認してほしい。

(2) 地域防災訓練の参加に向けて

<特別出張所との連携>

1) 嶺町出張所との調整

- ・ 田園調布南町会の防災訓練に参加が可能。⇒防災部会参加者：3名。

2) 新井宿特別出張所との連携

- ・ 大森第3中学校の学校防災訓練を12月13日に実施予定。

⇒防災部会の参加を検討していく。11月の専門部会時に、嶺町特別出張所の会長・新井宿特別出張所から、内容を説明いただけるか調整をする。

3) 東京障害者差別解消法ハンドブック

- ・ ヘルプカードとヘルプマークの説明が記載されている。
- ・ 東京都では、障害者差別解消の推進に関する条例が変更され、10/1に施行。事業所の合理的配慮が義務化された。

3 総合防災訓練等への参加報告（羽田地区：参加者8名）

- ・ 全参加者は、約3500人だった。子どもが多く活気があった。参加型が多く、楽しく参加ができた。
- ・ VR車を体験し、物が飛んでくる映像に危険を感じ、防災につながる良い経験となった。
- ・ 災害体験車では、土石流の体験をした。大雨時の避難判断の難しさを感じた。

4 防災ワークショップに向けて実施内容の共有

鍵屋先生の講話を聞き、グループワークを行なう。

5 新たな課題について

放課後等デイサービスや移動支援の防災訓練の実施状況

⇒アンケート等で状況を把握していく。グループホームへのアンケートも検討していく。

6 その他

久が原地区では、久が原福祉園（福祉避難所）までの移動訓練を行なう。

※次回日程

日時：平成30年11月20日（火） 13：30～15：30 さぼーとぴあ3階集会室